

活動報告 (2025年9月～2025年11月)

9月 2日 oba+ (オバプラス) おしゃべり会 (当事務所)
 9月 6日 性的少数者の声に学ぶ会 (市民プラザ)
 9月 6日 直江津うみまちアート (ライオン像のある館 他)
 9月 8日 県議会・県民所得アップ対策特別委員会
 9月12日 突風被害視察 (三和区)
 9月14日 棚田学校 稲刈り (中ノ俣)
 9月15日 日米豪共同訓練反対県民集会・デモ行進 (高田スポーツセンター他)
 9月17日 防災・脱炭素社会づくり特別委員会県内視察同行 (株有沢製作所、上越地域消防局)
 9月24・25日 県民所得アップ対策特別委員会県内視察 (十日町市松代の星峠の棚田など)
 9月27日 前島密誕生190年を祝う会 (ホテルハイマート)
 10月4日 上越市消費者協会創立20周年記念・三遊亭白鳥独演会
 10月7～9日 県議会 (常任委員会)
 10月 4日 上越特別支援学校有恒学舎開校記念式
 10月12日 原発をなくす柿崎連絡会 (準備会) 意見交換会参加・講演 (柿崎地区公民館)
 10月15日 県議会 (連合委員会)
 10月16日 県議会 東京電力社長他参考人質疑
 10月18日 第55回上越市民スポーツ祭市民卓球大会 (上越市総合体育館)
 10月18日 上越市議会議員補欠選挙告示 (日本共産党の山本のぶこ候補を応援)
 10月18・19日 第20回越後・謙信SAKEまつり
 10月20・21日 県議会 (本会議・採決)
 10月23日 国営関川用水農業水利事業完工式・祝賀会 (デュオ・セレッソ)
 10月24日 日本共産党上越市議会議員団市政報告会 (市民プラザ第一集会室)

10月25日 久比岐高等学校閉校式
 10月25日 上越国際交流協会創立30周年式典 (デュオ・セレッソ)
 10月30日・31日 11月4日～7日県議会 (普通会計決算審査特別委員会)
 11月 1日 上越プライドフェス (オーレンプラザ)
 11月 9日 原発防災訓練 (くびき希望館)
 11月 9日 のぶちゃん (山本のぶこさん) とピースの集い (当事務所)



11月15日 松代病院を守る大集会 (十日町松代総合センター)



11月15日 宮崎俊英氏「文化財保存・活用のこれから」講演会 (五智歴史の里会館)
 11月18日 県議会・県民所得アップ対策特別委員会
 11月20日 第2回上越地域振興局行政懇談会 (上越地域振興局)

お知らせコーナー

馬場の話を聞きたい方へ

現在各地で「おしゃべり会」を実施しております。少人数でもご要望があれば伺いますので、ご希望の方は事務所までご連絡ください。



登録お願い

馬場ひでゆき公式ホームページを公開しています。また公式LINEも始めました。ぜひご登録をお願いいたします。

公式LINE



Instagram



ホームページ



最近では撮影機材も揃えて動画にチャレンジしています。左記のすべてで見ることができます！ぜひ見てください。



発行：馬場ひでゆき事務所

新潟県上越市本町3丁目3-3
 ダイアパレス高田式番館2階
 電話 025-546-7110
 FAX 025-546-7666

kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp
<https://babahideyuki.jp/>
 営業時間 月～金曜 10:00～16:00



〔新潟県議会議員・無所属〕

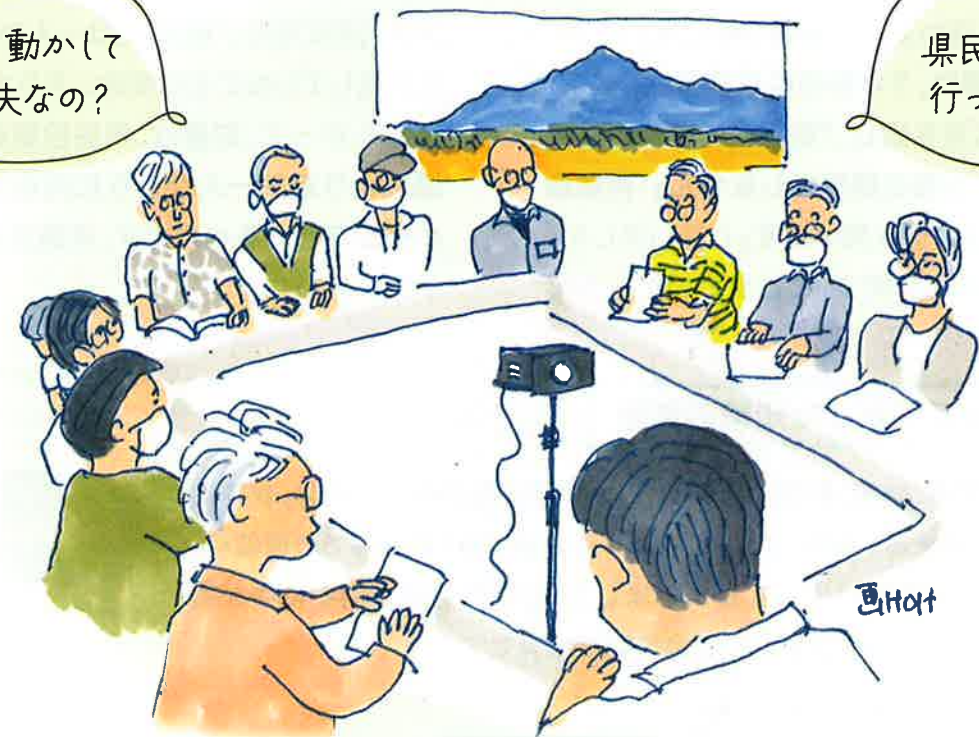
馬場ひでゆき

活動報告

vol.10
2025.冬号

原発を動かして大丈夫なの？

県民の声はどこへ行っちゃったの？



ご挨拶

今年は猛暑が長引いたためか秋が短く感じられました。11月半ばごろから「カマキリの卵が高い位置にあったから大雪かもしれないよ」といった冬の話が聞かれるようになりました。豪雪地域の上越ではどこに住んでいても降雪量は不安が募ります。

そうした中、花角知事は、柏崎刈羽原発の再稼働を容認する判断を示し、その判断の是非を県民ではなく県議会に丸投げする暴挙に出ました。政府、自民党、東電や経済団体に迎合し、「直接県民に信を問う」とした7年前の県知事選での県民との約束を踏みにじりました。

柏崎刈羽原発については、大地震による安全性、豪雪時の避難体制など、未解決の課題は残されたままです。冬を迎える今こそ、皆さまお一人お一人が原発再稼働について改めて考えていただきたいと願っています。私も引き続き声を上げていきます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

～略歴～

1964年旧高士村 (現上越市) に生まれ、現在62歳
 高士小学校、高士中学校、高田高校、東京大学法学部卒
 宇都宮健児弁護士に師事

1998年に弁護士登録し、新潟市内で弁護士活動開始
 2003年に上越市本町3丁目に弁護士事務所を開設

2008年に友人らと共に高田日活 (現高田世界館) の維持保存に奔走
 2016年市民連合・上越の共同代表として、市民と野党の共同の先頭に立つ

*趣味は山歩き、TVドラマ鑑賞

*現在、子ども3人 (2女1男) は独立し、妻と母と共に暮らす



切実な要求を県政に繋ぐ！ ～馬場ひでゆきの議会活動～



花角知事は「県民に信を問う」の公約を守れ！

県議会の議決での幕引きは許されない

花角知事は、柏崎刈羽原発6号機7号機について再稼働容認の判断をし、それについての是非を県議会に委ねる旨を表明しました。

しかし、知事は、7年前の県知事選の最終盤、新聞に全面広告を出し、「新潟県の3つの検証が終るまで再稼働の議論はしません」「再稼働の是非は、県民に信を問います」と言いました。知事は「県民に信を問う」ことを公約として掲

げ、それを県民が期待して一票を知事に投じて知事は当選したのです。「県民に信を問う」が明確な選挙公約になり、「県民」とは一人ひとりの新潟県民を指していたことは間違いありません。

したがって、知事は、県民投票或いは県知事選により県民一人ひとりに再稼働是非の判断の機会を与えるべきです。県議会の議決などありえません。

変わってしまった知事の言葉

実は、花角知事、当初「県民に信を問う」と決意を表明したものの、次第にその言葉の意味をあいまいにし、今年の4月議会では「県議会での信任・不信任もありうる」と言い出してしまいました。言葉の意味を勝手にゆがめる花角知事の姿勢は、政治家として余りに不誠実です。



2018年6月9日

新聞広告
(県知事投票日前日)

「再稼働の是非は、県民に信を問います」

↓
選挙後、花角知事の
この言葉は次第にトーンダウン

2018年6月27日

6月議会での
所信表明

「(再稼働の是非の判断について)私の気持ちの中では信を問う方法が大きい、住民投票や議会での議論もあり得る」

2025年4月17日

臨時議会での馬場の
質問に対する答弁

「『信を問う』ということの意味は、議会における信任、不信任もありうると思う」

雇用と所得アップで活力あふれる新潟県に!!

脱原発の社会をめざします。

新潟県の3つの検証が終るまで
再稼働の議論はしません!
再稼働の是非は、県民に信を問います!

県民最優先 安全・安心第一

▲花角知事が初当選した県知事選投票日前日(2018年6月9日)の新聞全面広告

馬場ひでゆき 6つの約束

- ① みんなの声を政治に活かす
- ② 一人親・子育て世帯の支援
- ③ 病院・医療・介護の充実
- ④ 街をつくるムラを守る
- ⑤ 原発再稼働に反対を貫きます
- ⑥ 大軍拡・大増税ストップ



東京電力の札束攻勢に惑わされない!

1,000億円の原資は国の借金

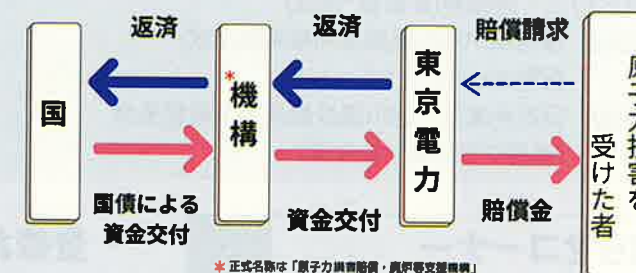
東京電力は、新潟県に対して、柏崎刈羽原発の再稼働を条件に1,000億円の拠出をする旨を表明しました。

しかし、東電は東日本大震災で巨額な負債を抱え、本来であれば破綻して営業ができなくなるところを国策で救済された会社です。23兆円とも言われる巨額の損害額を国に立替えてもらい、東電は事業を継続しながらその返済を続けているのです。新潟県に拠出するという1,000億円は、本来なら賠償金などを立替えた国に優先的に返済するものなのです。

廃炉はまだ先の先

東電は、1号機2号機について廃炉にすることを表明しています。しかし、私が東電社長に

した質疑では、①廃炉は原発の再稼働が大前提であること、②廃炉にするかどうかは原発を再稼働させて、電気を安定供給できるかどうか考えてから決断する、ということが明らかになりました。廃炉は完了するまで20～30年かかるとされています。廃炉の決断もいつになるのかわかりません。廃炉はまだまだ先の先ということのようです。



11/25

「人間の鎖」

1200人越えて
大成功!

11月25日、県庁や県議会庁舎を取り囲む「人間の鎖」行動が1200名を越える参加者で実施されました。参加者みんなで手を繋ぎ、「知事は県民の声を聞け」「県議会だけで決めるな」とアピールしました。県政史上初めての「人間の鎖」行動、凄じい熱気と静かな闘志で大成功、私も仲間の県議の皆さんと一緒に手を繋ぎ、知事への抗議をアピールしました。

